

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年4月2日
【会社名】	株式会社フォーバル
【英訳名】	FORVAL CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 中島 將典
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区神宮前五丁目52番2号
【電話番号】	03（3498）1541（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 加藤 康二
【最寄りの連絡場所】	東京都江東区佐賀一丁目1番3号
【電話番号】	03（6826）8881
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 加藤 康二
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

1【提出理由】

当社及び連結会社の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号及び第19号の規定に基づき提出するものであります。

2【報告内容】

(1) 当該事象の発生年月日

平成24年3月30日（取締役会決議日）

(2) 当該事象の内容

① 関係会社株式評価損の計上

当社が保有する当社連結子会社フォーバル・リアルストレートの株式について、年度末の時価が著しく下落し、その回復が認められないと判断したため、個別決算において関係会社株式評価損253百万円を計上いたします。

② 投資有価証券評価損の計上

当社が保有する「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復可能性が認められないものについて、投資有価証券評価損を計上する予定であります。

③ 繰延税金資産の計上

当社は、平成24年3月期を含め最近の業績において収益が堅調に推移し、将来にわたり課税所得の発生が見込まれることから、税効果会計上の会社区分の見直しを行いました。この結果、解消が長期に渡ると見込まれる将来減算一時差異に係る繰延税金資産についても回収可能性があると判断し、繰延税金資産を連結決算において約570百万円及び個別決算において約550百万円を法人税等調整額に加えて計上する見込みであります。

(3) 当該事象の損益及び連結損益に与える影響額

平成24年3月期において、以下の特別損失及び法人税等調整額を計上する予定であります。

	個別決算	連結決算
関係会社株式評価損	253百万円	—
投資有価証券評価損	332百万円	355百万円
法人税等調整額	△550百万円	△570百万円

以 上